

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成

・進んで考える子

確かな学力づくりと考える力の育成

…主体的に学ぶ姿勢、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力

＜本年度の学力向上策＞

「おもしろい授業」への挑戦

- ①アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善
- ②提案性のある研究成果の発信
- ③「学力・学習状況調査」や「よい授業4つの因子」の活用、
- ④OJT (On the Job Training) を意識した研修による指導力向上
- ⑤「授業を見せ合い議論する」職員室文化の醸成

具体的な授業改善の視点

- ①学習の本質的なおもしろさを把握する。
- ②おもしろい・学びたい(教えたい)と思える学習材を探す。
- ③教師がしゃべりすぎない、子どもが活躍する授業を計画する。
- ④適切な目標をもたせ、肯定的に自己評価させる。
- ⑤学んだことを生かして再構築する学習を仕組む。
- ⑥自ら学ぶ力を育成するという視点を常にもつ。

＜本年度の振り返り＞

◎アクティブ・ラーニングの視点から研修を行い、授業改善を図るとともに、11月に研究発表を行い、研究の成果を発表することができた。

○授業改善を行ったことで、児童が自分自身の変容を感じ取り、付けたい力を獲得することができた。

○児童が主体的に学ぶために、単元計画や問題の工夫を行うことで対話活動が充実し、より児童の思考の深まりが感じられたため、3つの視点が密接にかかわっていることを実感できた。

●教科や学年によって付けたい力が異なるため、様々なアプローチが必要であることと、評価規準が変わる中で、適切に評価する方法を考える必要がある

●時には教科書通りの流れではなく、どの児童も参加でき、児童が思考できる活動を考えていく必要がある

◎全教員がOJTを行い、管理職を中心に授業を参観し、指導助言を行うことで、指導力の向上を図った。

